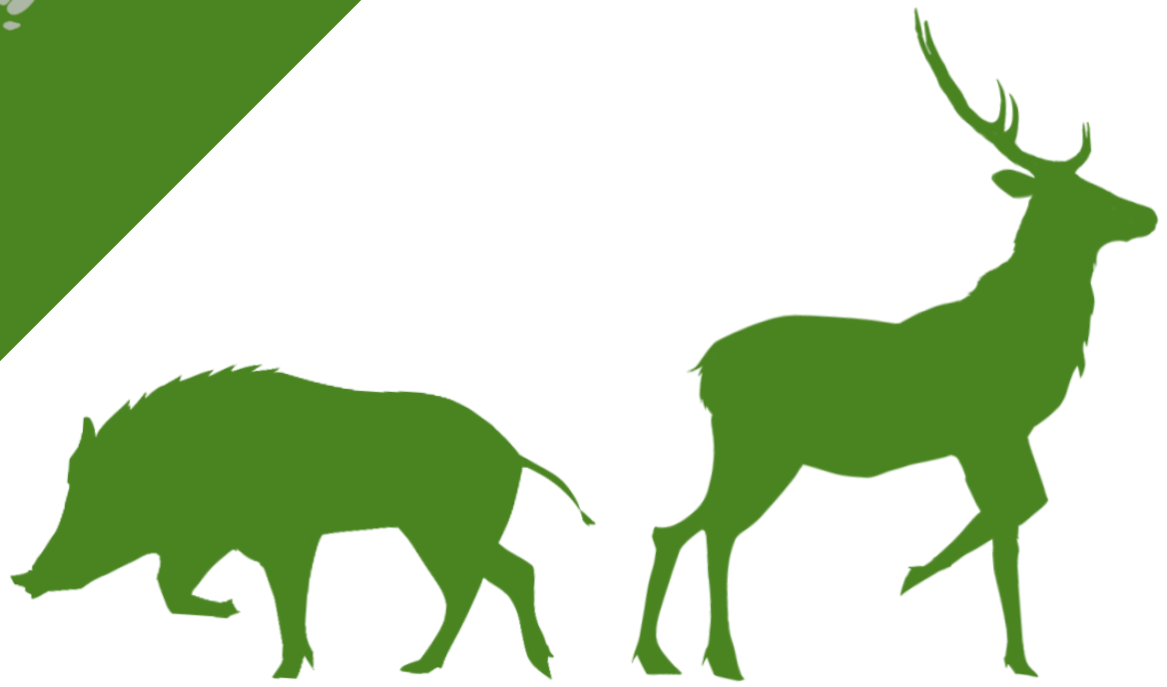




現場指導者のための  
獣害対策  
マニュアル





# はじめに

本県における獣類による農業被害（以下、獣害とします）は、増加傾向にあり令和元年度における農業被害金額は約3億1641万円となっています。これまでは、自然豊かな房総丘陵を有する県南部が主な発生地域となっていましたが、近年はイノシシやハクビシン、アライグマの分布拡大にともない、県北部や都市部でも獣害が発生しています。

獣害の発生した際には、地域住民と接する機会の多い行政担当者や農業関係者が助言を求められることが多い一方で、動物や獣害については専門外の方がほとんどです。**本マニュアルはこれらの現場で獣害対策を指導する立場の方を対象に作成**しており、対策技術に加えて指導時に注意すべき点についても記載しています。

指導する立場の方々の獣害対策スキルアップは、地域の獣害対策スキルアップにつながります。ぜひご活用ください。



# 目次

## はじめに

## 用語集

### 1 現場での対策指導の前に



千葉県の獣害の状況	4
なぜ獣害が増えている？	4
対策は総合的に	5
対策を個々から、地域全体へ	5
現場指導者の心構え	5

### 2 個別圃場での対策指導



対策の進め方	6
主な動物の生態	7
加害獣の特定	9
自動撮影カメラの活用	10
防護柵の設置・点検	11

### 3 集落全体での対策指導



集落での対策の進め方	15
地域の課題特定	15
住民の理解醸成（研修会の開催）	16
動機付けと合意形成（ワークショップ）	16
動物の餌となるものの除去（環境整備）	17
広域的な防護柵の管理	18
サルの追い払い	19
捕獲体制の構築	20

## 巻末資料



電気柵点検チェックシート	22
電気柵の正しい設置方法普及用チラシ	23
環境整備普及用チラシ	24